

IV. 修学旅行及び参加・体験型学習の受入に係る北方領土隣接地域の現状

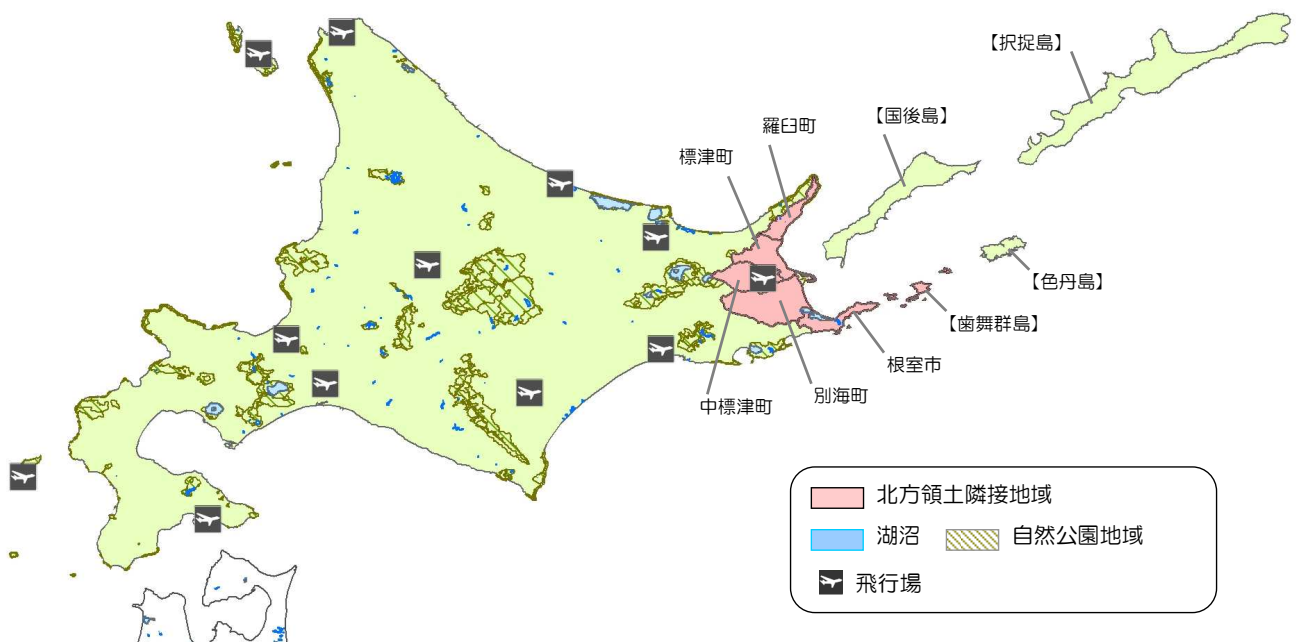
1. 他分野に関する学習プログラムとの効果的連携に向けた地域の現状整理

(1) 調査目的

一般に、修学旅行は「総合的な学習」のテーマや学校毎の教育方針等と関連のある内容の中で、実施されることが多い。しかし、過年度に実施された調査「誰もが身近に感じ、語ることのできる北方領土を目指して（北方領土返還運動のための新プラン策定調査検討委員会平成21年3月）」における「V. 学校教育における北方領土教育の現状と拡充の可能性の分析」によれば、「総合的な学習」の時間を含め、学校教育の中で北方領土問題が取り上げられる時間はかなり少ない実態が把握されており、北方領土問題を主たるテーマに修学旅行を実施する学校は、ごく限定的であると考えられる。そのため、北方領土隣接地域への修学旅行を通じ、北方領土教育をより拡充していくためには、環境分野など、他分野の学習テーマと連携を図り、北方領土関連施設への誘客を進めることが重要である。

そこで、将来的な他分野の学習テーマとの連携を模索するに当たり、まずは北方領土隣接地域において、北方領土問題以外にどのような学習テーマを提供することができるのか整理を行った。具体的には、文献調査等を通じて、域内の観光・学習施設において実施されている参加・体験型学習プログラムを整理し、北方領土隣接地域に立地する北方領土関連施設との連携可能性を検討した。

図表 IV-1 北方領土隣接地域の位置



注) この地図は国土地理院の数値地図 25000 をもとに作成したものである。